



平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 5 日

上場会社名 株式会社金門製作所 上場取引所 東証第 1 部
 コード番号 7724 URL <http://www.kimmon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩井 昌秋
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 星野 義和 TEL (03)3830 - 3743

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 3 四半期	23,985	1.1	579	7.6	360	17.5	517	-
19 年 3 月期第 3 四半期	24,260	2.8	626	61.4	437	66.9	324	75.5
19 年 3 月期	32,233	-	825	-	556	-	367	-

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 3 月期第 3 四半期	8	59	-	-
19 年 3 月期第 3 四半期	5	39	3	86
19 年 3 月期	6	10	4	37

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭
20 年 3 月期第 3 四半期	29,469	3,231	3,231	10.9	3	76	
19 年 3 月期第 3 四半期	31,659	3,993	3,993	12.6	16	48	
19 年 3 月期	31,054	4,027	4,027	13.0	17	02	

2. 配当の状況

(基準日)	1 株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
19 年 3 月期	円 銭	円 銭	円 銭
20 年 3 月期 (予想)	-	-	0 00
	-	-	0 00

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

業績予想は平成 19 年 11 月 8 日公表時から変更しておりません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、2 頁【定性的状況・財務諸表等】3. その他をご覧ください。]

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(平成19年4月~12月)におけるわが国経済は、堅調な企業業績を背景とした設備投資が拡大し、回復傾向を持続しておりましたが、原油や穀物など高止まりする原材料価格、米国におけるサブプライム問題に端を発した株価下落等、景気の先行きは不透明感を増しております。

このような環境のもと、当社グループは「営業力」、「商品力」、「コスト競争力」を強化するために、山武グループとの協業およびグループ内でのリソース有効活用(営業面での連携・購買機能の集約化等)によるトータルコストの削減等経営の合理化を進め、市場におけるシェア獲得に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間の売上高につきましては、都市ガスメーターの需要期が下降期にあることに加え、販売価格低下の影響から23,985百万円(前年同期比1.1%減)、営業利益579百万円(前年同期比7.6%減)、経常利益360百万円(前年同期比17.5%減)、四半期純損失517百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の資産の部は、前連結会計年度末と比較し流動資産は40百万円減少の13,063百万円、固定資産は1,545百万円減少の16,405百万円となりました。

負債の部は、前連結会計年度末と比較し流動負債は65百万円増加の17,231百万円、固定負債は854百万円減少の9,006百万円となりました。

純資産の部は、前連結会計年度末と比較し利益剰余金の減少と、株式市場低迷に伴いその他有価証券評価差額金が減少したこと等により3,231百万円となりました。

よって自己資本比率は13.0%から10.9%と2.1%減少しました。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(製品保証引当金)

従来、製品等の不具合を起因とするクレーム対応費用は、その対応時期に費用処理しておりましたが、近年、過去に納品した製品等の不具合発生率が高まってきており、また、社内におけるクレーム管理体制を一段と整備したことから、不具合対応費用の期間帰属の適正化及び財務内容の健全化を高めるため、当連結会計年度より、将来の発生見込額を個別に見積もり、製品保証引当金として計上する方法に変更しました。

この変更により、従来と同一の基準によった場合と比べ、経常利益は41百万円増加し、税金等調整前四半期純損失は98百万円増加しております。

添付資料

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
流動資産	13,320	13,063	257	1.9	13,103
固定資産	18,338	16,405	1,932	10.5	17,951
有形固定資産	13,992	12,709	1,283	9.2	13,654
無形固定資産	348	271	77	22.2	348
投資その他の資産	3,996	3,424	572	14.3	3,948
資産合計	31,659	29,469	2,189	6.9	31,054
(負債の部)					
流動負債	16,930	17,231	301	1.8	17,166
固定負債	10,735	9,006	1,729	16.1	9,861
負債合計	27,665	26,238	1,427	5.2	27,027
(純資産の部)					
株主資本					
資本金	3,157	3,157	-	-	3,157
資本剰余金	4,162	4,162	0	0.0	4,162
利益剰余金	4,839	5,316	477	9.9	4,799
自己株式	2	2	0	10.1	2
株主資本合計	2,478	2,000	477	19.3	2,518
評価・換算差額等					
その他有価証券 評価差額金	1,461	1,170	291	20.0	1,451
土地再評価差額金	53	56	2	5.2	56
評価・換算差額等 合計	1,515	1,226	288	19.1	1,507
少数株主持分	-	4	4	-	1
純資産合計	3,993	3,231	762	19.1	4,027
負債、純資産合計	31,659	29,469	2,189	6.9	31,054

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
売上高	24,260	23,985	275	1.1	32,233
売上原価	19,284	18,790	493	2.6	25,591
売上総利益	4,976	5,194	218	4.4	6,642
販売費及び 一般管理費	4,350	4,615	265	6.1	5,817
営業利益	626	579	47	7.6	825
営業外収益	263	228	34	13.2	361
営業外費用	452	446	5	1.2	629
経常利益	437	360	76	17.5	556
特別利益	4	250	245	-	20
固定資産売却益	4	-	4	100.0	5
担保提供損失 引当金戻入額	-	-	-	-	15
投資有価証券 売却益	-	250	250	-	-
特別損失	4	990	985	-	34
固定資産除売却損	4	137	132	-	20
減損損失	-	420	420	-	-
製品等不具合 対応関連損失	-	193	193	-	-
製品保証引当金 繰入額	-	140	140	-	-
たな卸資産除却損	-	11	11	-	-
土壌調査及び 改良費用	-	83	83	-	14
その他	-	3	3	-	-
税金等調整前四半期 (当期)純利益又は 税金等調整前四半期 純損失()	437	378	816	186.6	542
税金費用	112	136	23	21.1	174
少数株主損()益	-	2	2	-	-
四半期純利益又は 四半期(当期) 純損失()	324	517	842	259.3	367